

人権課題を解決するために

山田家のある一日

～社会的性別（ジェンダー）に気づこう～

（60分）

【対象者】

高校生、保護者や成人一般
10人～40人程度

【関連する視点・課題】

参加・参画

ねらい

社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた男性像、女性像があり、このような男性、女性の別を「社会的性別（ジェンダー）」と呼びます。これ自体は良い悪いの価値を含むものではありませんが、性差別、性別による役割分担、偏見等につながっている場合があります。ここでは、このようなことについての気づきや認識を深め、男女平等を基盤として共に参加・参画し合う男女共同参画社会づくりについて考えます。

準備

- 筆記用具
- 課題解決シート
- 家庭における役割シート（人数分）

アクティビティの実際

導入
（15分）

アイスブレイキング

- ※「背中的人物」を実施する。
（14ページ参照）

展開
（25分）

ロールプレイ「山田家のある一日」

- 1 課題解決シート「山田家のある一日」を読みます。
- 2 3人1組のグループをつくり、役割（妻、夫、観察者）を決めます。
- 3 課題解決シートの「山田和美さんと圭一さんについての感想」を記入します。
- 4 妻役、夫役に対し、「山田家の夕食時」に和美さんが「えっ……。」と絶句した後の会話を考えます。
- 5 妻役と夫役は、向かい合い、「はじめ」の合図から「やめ」の合図までのロールプレイを行います。
観察者は、妻役と夫役の横に位置し、ロールプレイの感想などを「課題解決シート」の中の「ロールプレイの感想」に記入します。

- 6 ロールプレイをふり返り、それぞれの役割を通しての感想を発表します。

ふり返り
(20分)

ふり返り

- 1 「家庭における役割シート」を配付し、自分が担当している家庭での役割にチェックを入れ、感想も記入するよう指示をします。
- 2 「家庭における役割シート」への記入などを通して、互いの感想などを話し合います。
- 3 社会の中の社会的性別（ジェンダー）について気づいたことや感想などを話し合い、発表します。
- 4 ファシリテーターのまとめとして、男女が共に協力（参加・参画）する男女共同参画社会を考えるようにします。

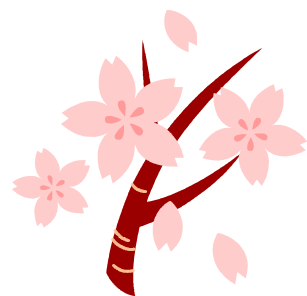
ポイント



- グループ分けはファシリテーターが決めるようにします。
- ロールプレイは、「課題解決シート」を基に、一人一人に役割と場面設定を十分説明した上で、実施します。
- 「家庭における役割シート」の中に示している役割については、家庭内の役割の一部の例示であることを説明するようにします。
- 日常生活の中で、「当たり前」とか「自然なこと」と感じていることの中にも、「社会的性別（ジェンダー）」があることをロールプレイの体験やふり返りを通して気づくようにします。
- 男らしさや女らしさを否定することなく、一人一人の個性や能力が十分発揮できる社会の実現のために、見過ごされている性差別、性別役割分担及び偏見に気づくことが大切であることを押さえるようにします。

【応用・発展のために】

- 家庭生活から地域や職場などの様々な「社会的性別（ジェンダー）」にも気づくとともに、「社会的性別（ジェンダー）」が性差別、性別役割分担及び偏見等につながっていないかを意識し、男女共同参画社会の実現に取り組みましょう。



山田家のある一日

山田家は、妻：和美（43歳、会社員）夫：圭一（47歳、会社員）長男：大輝（16歳、高校1年生）の3人家族である。

和美さんの朝は、起床後、新聞を取ることから始まり、コーヒーを入れ、朝食の準備をします。朝食ができあがる頃に、夫と子どもを起こし、全員そろうまでの時間を使って、洗濯物を干します。

和美さんは、日ごろから家庭生活に多少不満をもっています。

今日も、食事が済むと片づけもそこそこに、あわてて身支度を済ませて出勤しました。

夕方、仕事を終え、疲れてくれたたの和美さんは、買い物をして帰宅後、まずベランダの洗濯ものを取り入れ、夕食の準備にかかりました。

長男の大輝君は部活動で帰りが遅くなるとの連絡があり、そんな時、夫の圭一さんが帰宅しました。

夫：「ただいま」

妻：「おかえり、お父さん。ちょっとお風呂の用意をしてくれる？」

夫：「疲れてるから・・・」

妻：「じゃ、料理を手伝って」

夫：「そんなこと言ったって、疲れているし、おれは料理なんて作りたくないよ！」「お前の仕事だろう。」

妻：「えっ・・・」

山田和美さんと山田圭一さんについて

・和美さんはどんな人だと思いますか。

・圭一さんはどんな人だと思いますか。

ロールプレイ後の感想

・和美さんの立場から感じた圭一さんへの思いは？

・圭一さんの立場から感じた和美さんへの思いは？

・家庭の決定権はどちらにあるのでしょうか？

家庭における役割シート

◆ 誰が担当していますか？ 該当する項目にチェックしてみましょう。

食 事	洗 濯	掃 除	子育て	ゴミ処理	子どもと 地 域	お風呂・ペ ット等
食料品の買 い物をする ()	衣類を洗う ()	車を洗う ()	オムツ交換 を行う ()	新聞をたた む ()	幼稚園・保育所 への送迎を行う ()	お風呂を洗 う ()
夕食をつく る ()	洗った衣類 を干す ()	家の中を掃 除する ()	ミルクをあ げる ()	ゴミを選別 する ()	習い事等への 送迎を行う ()	お風呂にお 湯を入れる ()
食器を洗う ()	取り入れる ()	外回りの掃 除をする ()	お風呂に入 れる ()	空き瓶・缶 を整理する ()	地域の行事に 参加する ()	ペットを散 歩に連れて 行く()
後片づけを する ()	洗濯物をた たむ ()	トイレ掃除 する ()	寝かしつけ る ()	ゴミをまと める ()	保護者会へ 参加する ()	ペットに餌 をやる ()
昼食用弁当 をつくる ()	衣替えを行 う ()	大掃除をす る ()	病院に連れ て行く ()	ゴミの日に 捨てに行く ()	子どもと遊 ぶ ()	ペットを洗 う ()

参考資料 男女共同参画社会に向けて「社会的性別（ジェンダー）」の視点

「男女共同参画基本計画（第2次）平成17年12月内閣府から抜粋」

人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）がある。一方、社会的通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別」（ジェンダー／gender）という。

「社会的性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的に使われている。

「社会的性別の視点」とは、「社会的性別」が性差別、性別による固定的役割分担、偏見等につながっている場合もあり、これらが社会的に作られたものであることを意識して行うこととするものである。

このように、「社会的性別の視点」でとらえる対象には、性差別、性別による固定的役割分担及び偏見等、男女共同参画社会の形成を阻害すると考えられるものがある。その一方で、対象の中には、男女共同参画社会の形成を阻害しないと考えられるものもあり、このようなものまで見直しを行おうとするものではない。

社会制度・慣行の見直しを行う際には、社会的な合意を得ながら進める必要がある。